

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院循環器センター内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族が診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

本研究では 2012 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日の間に、虎の門病院に循環器疾患で入院されたすべての患者様です。

【研究課題名】

レセプト及び DPC データを用いた循環器疾患における医療の質の向上に資する研究

【研究の目的・背景】

《目的》

JROAD(The Japanese Registry Of All cardiac and vascular Diseases；循環器疾患診療実態調査)調査施設の中から DPC(Diagnosis Procedure Combination；診断群分類)参加病院を対象に、病名や診療行為の明細が含まれた DPC データを集め、データベースを作成します。得られたデータに基づいて、医療の質を向上するのに必要な情報を循環器学会員へ発信し、循環器診療の質を向上させるための基本的な資料とすることを目的としています。

《研究に至る背景》

全国の循環器疾患の診療実態を記述した統計はなく、その診療実態は不明な点が多いと考えられています。諸外国では定期的にデータを取得し、モニタリングを行うことで診療の質を向上させようとする試みがありますが、日本にはまだそのようなデータベースは存在しません。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2021 年 1 月 6 日 ～ 2030 年 3 月 31 日

【単独／共同研究の別】

多施設共同研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別するこ

とができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は循環器センター内科 児玉 隆秀部長のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

診療情報は虎の門病院で特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえたうえで、国立循環器病研究センターOIC 情報利用促進部にて厳重な管理のもと保存されます。同施設へはデータは CD-R に書き込みの上、郵送で提供いたします。

【利用する診療情報】

収集する項目は、性別・入院時年齢、入院時診断名・入院時併存症病名・入院後合併症病名とそれらの ICD-10 コード、手術処置名、実施日、使用された薬剤・医療材料、在院日数、退院時転帰、費用情報です。

【研究代表者】

福本 義弘 久留米大学病院病院

【虎の門病院における研究責任者】

児玉 隆秀 虎の門病院 循環器センター内科

【利用する者の範囲】

的場聖明	京都府立医科大学大学院医学研究科
家田真樹	慶應義塾大学医学部
安田聡	東北大学病院循環器内科学分野
香坂俊	慶應義塾大学医学部
的場哲哉	九州大学医学部附属病院
中山雅晴	東北大学大学院医学研究科
岩永善高	国立循環器病研究センター
天野哲也	愛知医科大学
柴田龍宏	久留米大学病院
坂東泰子	三重大学医学部
榎本美佳	久留米大学医学部
齋藤綾	横浜市市立大学大学院医学研究科
畠田浩	福井大学医学部

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2025年9月30日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様の不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 循環器センター内科 児玉 隆秀

電話 03-3588-1111(代表)